

こんにちは!

由利本荘市議会です



無火災を願う出初式／市役所前（1月8日）

12月定例会

- 12月定例会のトピックス ▶ P2
- ここが聞きたい 一般質問 ▶ P5
- 市民と語る会 ▶ P10
- お知らせします 議会の動き ▶ P11
- 愛LOVEゆりほんじょう ▶ P12



生命と財産を守る消防団



12月定例会のトピックス



令和5年12月定例会が11月30日から12月18日までの19日間の日程で開催されました。

市提出議案は、条例関係12件、契約案件3件、令和5年度補正予算12件、その他14件の計41件が提出され、すべてが原案のとおり可決されました。

また、陳情5件については常任委員会での討議、本会議での討論を経て、4件は採択、1件は不採択と決しました。

さらに委員会発案4件の追加提出議案も可決されました。

文中の記号は次のとおり所管委員会を表しているものです。

(総) … 総務常任委員会 (教) … 教育民生常任委員会 (産) … 産業建設常任委員会

ふるさと納税の目標額を改定

目標額を7億円に改めます。

(産)

問 現時点の寄付額は。

答 11月末時点で5億3484万円の寄付額に達している。今年度中に当初目標の6億円に達する見込みであることから、目標額を7億円に改める、それに伴い事務費などを追加補正する。

今後は取扱商品を増やすなど更なる工夫を講じ、多くの方に関心を持ってもらえるように取り組む。

久保田大森台線の法面対策

降雨により土砂が流出し、巨岩が露出しました。危険なため対処しようとするものです。(産)

問 現状はどうか。

答 10月5日からの降雨により土砂が流出し、巨岩が露出した。現況は倒木により落石を免れている状況である。岩石の状況を把握し、適切な対策を選択するため測量設計を委託するものである。現在は安全確保のため、全面通行止めとしている。



西沢田代地内(由利地域)

価格高騰緊急支援追加給付金・灯油購入費緊急助成事業

市県民税非課税世帯に価格高騰緊急支援金の給付および灯油購入費の助成を行います。(教)

問 給付額や給付方法は。

答 令和5年12月1日時点で令和5年度市県民税非課税世帯を対象に、支援金は1世帯7万円を給付、灯油購入費は1世帯8千円を助成する。給付方法は、市から送付する支給確認書または申請書によるものとする。

障害者支援施設・介護保険施設等物価高騰対策事業

障がい者支援施設や介護保健施設に光熱費や食材料費に充てるための補助を行います。(教)

問 補助金の内容は。

答 障がい者支援施設への補助金は、入所系は定員1人あたり6千円、通所系は定員1人あたり3千円の補助額。また、訪問・相談系施設は1カ所あたり4万8千円の補助額となる。介護保険施設などは、入所系・複合系の宿泊サービスの定員1人あたり9千円、通所系・複合系の通いサービスの定員1人あたり3千円の補助額となり、光熱費支援として訪問・相談系事業所に対し1カ所あたり4万8千円の補助を行う。

スキー場条例の一部改正

安定的経営の実現のため、大平スキー場の使用料の上限額を改めます。 (産)

問 改正の内容は。

答 燃料費や電気代などの高騰を鑑み、使用料の上限額を改正する。

中学生以下の上限額を現行の310円から550円に、その他の上限額を630円から1100円に改める。なお今シーズンの使用料は、中学生以下は500円、その他は800円とする予定である。

令和5年度敬老事業実施状況

295自治会から敬老事業補助金の申請がありました。 (教)

問 実施状況は。

答 295自治会から補助金の申請があり、令和5年11月30日現在で実施済みが258自治会、未実施が37自治会となっている。また事業内容の状況は、敬老会開催が117自治会、記念品贈呈が178自治会となっている。

熊出没、捕獲監視の実証実験

IoT自動撮影カメラを捕獲檻付近に設置し、スマホやPCで監視を行います。 (総)

問 実証実験内容は。

答 NTT東日本秋田支店の協力により、市内8カ所、各地域に1台ずつ、IoT自動撮影カメラを設置した。熱感知で動物を撮影し、AIが熊かどうかを判別する。専用サイトやアプリで撮影状況などを確認することが可能であり、カメラの設置状況や判別などを実証実験として検証するものである。



熊出没実証実験

鶴舞温泉源泉送水管移設工事

埋蔵文化財の追加調査に伴い、鶴舞温泉の源泉送水管を移設します。 (産)

問 どのような経緯か。

答 遊泳館側から引いている鶴舞温泉の源泉送水管は、国道107号線に沿って本荘公園の遊歩道付近を通っている。国道107号線の拡幅工事に伴う県による埋蔵文化財の発掘作業の際、源泉送水管に影響が出ないように掘削したが、想定以上に深い位置に目的物が存在することが判明した。

埋蔵文化財の追加調査が令和6年6月に開始する予定であることから、今年度中に仮移設工事に着工し、調査後に移設工事を完了するため、繰越明許費を設定する。



鶴舞温泉現地調査

地域公共交通物価高騰対策事業

第三セクター鉄道・タクシー事業者・路線バスに支援します。 (総)

問 事業内容は。

答 第三セクター鉄道に361万1千円、タクシー事業者に530万円を支援する。

また、路線バス利用促進事業として200万円を補助し、回数券の半額販売を継続する。

印鑑条例の一部を改正

印鑑登録証明書の発行についての条例改正です。 (教)

問 印鑑登録証明書の発行がどのように変わるのか。

答 スマートフォンに記録された電子証明書を用いると、コンビニエンスストアなどでの印鑑登録証明書の発行が可能になる。

12月定例会

条例関係 (主なもの)

可決

- 由利本荘市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案
- 由利本荘市印鑑条例の一部を改正する条例案
- 由利本荘市営スキー場条例の一部を改正する条例案
- 由利本荘市学校給食共同調理場条例の一部を改正する条例案

契約案件 (主なもの)

可決

- ◎新山小学校改築建築主体工事(第I・II期) 請負変更契約の締結について
契約金額: 29億7140万8千円
(変更前 28億6830万5千円)
契約の相手方: 村岡・長田・山科特定建設工事共同企業体
- ◎矢島小学校改築建築主体工事請負変更契約の締結について
請負変更契約の締結について
契約金額: 16億2671万3千円
(変更前 14億3869万円)
契約の相手方: 山科建設・伊藤建友・三浦工務店特定建設工事共同企業体

請願・陳情結果

不採択

- 陳情第15号
健康保険証廃止の中止を国に求める意見書提出についての陳情
秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 奥井 明子

採 択

- 陳情第12号
学校における教員不足と長時間過密労働解消のために、学級編制基準と基礎定数の改善による正規教員増を国に求める意見書提出についての陳情
加賀屋 俊悦

採 択

- 陳情第13号
安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を国に求める意見書提出についての陳情
秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 奥井 明子
- 陳情第14号
国民の命と健康を守るため、政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充し全てのケア労働者の賃上げや人員増を国に求める意見書提出についての陳情
秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 奥井 明子
- 陳情第16号
子供の医療費助成を中学校から高校卒業まで引き上げることを秋田県に求める意見書提出についての陳情
秋田県社会保障推進協議会 会長 佐藤 幸美

委員会発案

可決

- 委員会発案第5号
学校における教員不足と長時間過密労働解消のため基礎定数改善による正規教員増を国に求める意見書の提出について

意見書提出 衆議院議長 参議院議長
内閣総理大臣 文部科学大臣

- 委員会発案第6号
安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を国に求める意見書の提出について

意見書提出 内閣総理大臣 総務大臣
財務大臣 厚生労働大臣

- 委員会発案第7号
国民の命と健康を守るため政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充し、全てのケア労働者の賃上げや人員増を国に求める意見書の提出について

意見書提出 内閣総理大臣 総務大臣
財務大臣 厚生労働大臣

- 委員会発案第8号
子供の医療費助成を中学校から高校卒業までに引き上げることを県に求める意見書の提出について

意見書提出 秋田県知事

議案表決結果一覧表

○:賛成 ×:反対 欠:欠席

会派・議員名	高 志 会												サキホコレ		市民の窓口		共産党	公明党	立民党	無所属	表決数		議決結果	
	高橋信雄	高橋和子	佐藤義之	甫坂貴子	堀井新太郎	三浦秀雄	佐藤健司	小松浩一	泉谷起馬	吉田朋子	伊藤順男	渡部聖一	長沼久利	三浦晃	正木修一	大友孝徳	松本学	佐々木隆一	佐藤正人	小川幾代	阿部十全	賛成		反対
陳情第15号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—	×	×	○	○	○	×	○	○	5	15	不採択

※陳情第15号:健康保険証廃止の中止を国に求める意見書提出についての陳情

※長沼久利議長は、採決に加わりません。 ※採決で賛否が分かれた案件を掲載しています。 ※共産党:日本共産党 立民党:立憲民主党

一般質問

一般質問とは、議員が行う市政全般についての質問です。すべての質問項目は次のとおりです。(内容を掲載している項目番号には、○をつけています。)

5P 阿部十全 (無所属)

- ① 出羽幹線について
- ② 風力発電について
- ③ 熊目撃情報とマイマップの今後の有効活用について

7P 泉谷赴馬 (高志会)

- ① 人口減少対策について
- ② 市内産業の振興について
- ③ 業務上のヒューマンエラーから、税金や職員を守るための対策について

8P 小川幾代 (立憲民主党)

- ① 若年女性の市外流出対策
- ② 希望する保育園に入れない事象について
- ③ ふるさと納税について

6P 佐藤正人 (公明党)

- ① 带状疱疹ワクチン接種助成について
- ② 成人の軽・中等度難聴者への補聴器購入助成について
- ③ 子育てしやすい環境整備について
- ④ 子宮頸がん撲滅への取り組みについて
- ⑤ 透析予防のための糖尿病治療中断者対策について

7P 佐藤義之 (高志会)

- ① ふるさと納税額UPの仕掛けを
- ② 由利本荘市ブランド戦略について
- ③ 公共交通の朝夕のアクセス向上について
- ④ 携帯電話等のエリア拡大整備事業について
- ⑤ 熊対策推進について

9P 正木修一 (サキホコレ)

- ① 再生産可能な農業経営への支援について
- ② デジタル化推進計画の進捗状況について
- ③ 洋上風力発電事業について
- ④ 熊対策について
- ⑤ 高校生自転車通学者へのヘルメット購入補助について
- ⑥ 河川・道路改修など国事業の推進状況と見直しについて

6P 佐々木隆一 (日本共産党)

- ① イスラエルの無差別攻撃の蛮行への見解は
- ② 熊対策は現場の声聞き人命守る対策を
- ③ にかほ市に続き補聴器助成制度の創設を
- ④ 松枯れ被害の現状と対策は
- ⑤ 介護利用料2割負担の対象を広げる試案で市民への影響は
- ⑥ 第4種踏切の安全対策と今後について
- ⑦ 「あきたこまちR」への切り替えについて

8P 甫仮貴子 (高志会)

- ① 地域公共交通の課題と今後について
- ② 菖蒲公園の今後について
- ③ 教育に関する諸課題について
- ④ 若年層の投票率の向上に向けた取り組みについて

9P 大友孝徳 (市民の窓口)

- ① 持続可能なかたちで観光産業を成長させるために
- ② いじめ・ハラスメントの無い由利本荘市に
- ③ 最新のデータと合理的な考えに基づく風力発電施設の健康被害対策を
- ④ 再生可能エネルギー施設の開発に規制を
- ⑤ 若者の投票率向上を目指して

12月定例会では、9人の議員が質問に立ちました。YouTube配信をQRコードよりご覧になれます。



問 電磁波による住民への配慮、環境への配慮をどのように考えているか。



高規格高圧線の鉄塔

答 出羽幹線新設事業においては、関係法令などを遵守し、

公開されていることから、市として、さらなる情報公開を要請する予定はない。

問 東北電力ネットワークのホームページで、わかりやすく公開されていることから、市として、さらなる情報公開を要請する予定はない。

問 秋田市から由利本荘市を経由し、酒田までの50万キロワット高規格高圧線工事が始まっている。事業内容の公開を事業者に要請できないか。

出羽幹線



阿部十全 (無所属)



風力発電

適切に対応しているものと理解しており、あらためて市による対策は必要ないものと考えている。

問 再生エネの電源が抑制されるようだ。睡眠障害の調査として、この機会に時期や時間を定め、夜間停止を事業者に要請できないか。

答 関係すると思われる発電事業者を特定し、さらに出力制御時間を指定することは、他の事業者との公平、公正さに欠け、制度上もできないと理解している。

熊目撃情報とマイマップの今後の有効活用

問 通報時のマニュアル化と情報提供者へのフィードバックは。

答 いただいた情報から「発見日時・場所」「発見時の様子」「人家までの距離」など、県や警察と情報共有を行い、対応している。目撃情報から、藪の刈り払い、緩衝帯の整備や捕獲わなの設置場所の選定に役立てている。



佐藤正人
(公明党)



**带状疱疹ワクチン
接種助成は**

問 80歳までに3人に1人が発症するといわれる带状疱疹の予防にワクチン接種の助成は。

答 国の定期接種化の動向を注視していたが、進展が期待できないため、市として来年度からの実施に向けて、独自の助成制度の創設を検討する。

**成人の軽・中等度難聴者への
補聴器購入助成は**

問 助成の対象になっていない成人の軽・中等度難聴者への補聴器購入費用の助成は。

答 難聴者の補聴器使用は、認知症予防に有用なだけでなく、うつ病の発症リスクを低減させるなど、効果が期待されることから助成を国に要望していたが、未だに制度創設に至っていないこ

とから、県の助成の対象とならない18歳以上の方に対し、来年度に向けて、独自の助成制度の創設を検討する。



耳掛け式・耳穴式補聴器

**子宮頸がんワクチンの
キャッチアップ接種は**

問 ワクチンの積極的勧奨差し控えの影響を受けた高校1

年生から27歳のキャッチアップ接種は、令和6年度末までの期限措置となっている。期間内に3回の接種を完了するには、令和6年9月末までに1回目の接種を完了しなければならぬ。勧奨の通知は、自費での接種は総額約8万円と高額になる。接種対象者に個別通知し、期間内に完了するように広報やホームページで周知を図る。

**にかほ市に続き
補聴器助成制度を**

問 にかほ市は9月議会で難聴者の補聴器購入に5万円の助成を決めた。

答 由利本荘医師会との懇談で補聴器を要する難聴者への対応が急務増加する認知症に備え補聴器装用の必要性などの説明があった。にかほ市に続き補聴器助成制度を創設されないか。

答 補聴器は難聴者のコミュニケーション能力の向上を図り認知症、うつ病の発症リスクの低減と生活の質の向上につながる。市では軽・中等度の難聴者のうち、県の助成を受けられない18歳以上を対象に来年度に向けて新たに助成制度の創設を検討している。



佐々木隆一
(日本共産党)



**熊対策は現場の声を聞き
人命を守る対策を**

問 全国的に熊による人身被害が相次いでおり市内でも目撃情報が多くあった。目撃情報は何か。駆除は何頭か。捕獲わなはいくらの物を何基設置か。猟友会の会員は何人か。捕獲した熊の処理は。

答 来年度以降も遭遇リスクは続くので対策は検討すべきである。目撃情報は238件、駆除は82頭、捕獲わなは大型の檻が45万円、筒型の檻が35万円で総計で27基を保有している。猟友会員は112人、熊の処理は猟友会員により解体され食肉や埋設、焼却処理をしている。今後は国や県と情報共有しながら対策に取り組んでいく。





泉谷 尗馬
(高志会)



業務上のヒューマンエラーから
税金や職員を守るために

問 本市におけるプール施設の
管理実態は。

答 学校におけるプールの日常
管理は校長のもとに行われ
ており、通常の授業では教員が管
理運営を行っている。プールの開
設においては改めて注意喚起を行
い、引き続き確認作業の徹底や危
機管理意識の向上を図り事故やミ
スの防止に取り組んでいく。

人口減少対策について

問 子育て支援の雰囲気づくり
の強化を。

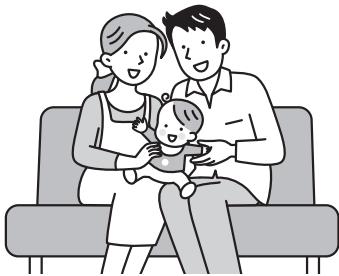
答 男性が子育てに関わること
は大切で、女性の出産意欲
向上にもつながるとの考えから、
夫婦協働の子育てを学ぶ場として
「パパママサロン」を開催し、今
年度は10組の夫婦が参加している。

市として、男性、女性を問わず仕
事と育児を両立できる社会が実現
するよう努めていく。

問 人口減少対策に取り組む企
業に対する認定制度の導入
を。

答 市独自の認定制度について
は、民間を巻き込む手法と
して導入している自治体があるが、
認定のあり方や優遇措置に関する
検討など多くの課題もあることか
ら、直ちに実施の可否は判断でき
ない。中期的な研究テーマとして
受け止める。

行政だけでの取り組みでは人口
減少対策には限界があることも確
かであり、企業や団体、市民を巻
き込みながら検討を重ね、真に人
口減少対策につながる施策事業を
展開したいと考える。



由利本荘市ブランド
戦略は



佐藤 義之
(高志会)



問 市独自の産物や文化風習を
発信する地域ブランディング
は。

答 本市の観光や文化、特産品
のブランディングについて
は、観光事業者と連携したPRや
ふるさと納税サイトを活用した情
報発信などで、広く由利本荘ブラ
ンドのイメージアップに取り組ん
でいる。

問 地場産品の認証制度を設け、
知名度向上や販路拡大、担
い手の育成や持続可能な産地づく
りの施策が必要では。

答 ふるさと納税受付サイトで
返礼品を広く売り出し、市
産品を全国に届けることで認知度
を向上させ、PR活動やSNSで
の情報発信などにより、市産品の
ブランディングを進めている。

また、ブランド価値の創造を目
指していくことにより、販路拡大
所得向上が図られ、ひいては担
い手育成や持
続可能な産
地づくりに
結びつくも
のと考えて
おり、今後
も更に充実
した取り組
みに努める。



ふるさと納税返礼品カートン

熊対策の推進は

問 個体数の今後の削減対策は。

答 国では、熊の調査や捕獲な
どにかかる費用について支
援策を講じるとしており、県では、
猟友会員を対象とした慰労金の支
給をする。

市では、NTT東日本秋田支店
のご協力により、捕獲わなの見
回り負担の軽減を目的とした「I
OT自動撮影カメラ」の実証実
験を開始した。現地に行かずに
捕獲を確認できるほか、AIで熊
を検知した場合は、自動的にメ
ールが送信される機能も備えて
おり、猟友会員の人的軽減にも
繋がる。今後も、熊対策の充実
強化を図っていく。



高橋 貴子
(高志会)



地域公共交通の

課題と今後

問 交通事業者間相互の効率的な接続による利便性の向上を。

答 昨年度、由利高原鉄道から羽後交通へ接続に関する要望があり協議の場を設けた。しかし、慢性的な運転手不足と法改正に伴う運転手の拘束時間の短縮問題など、接続について難しい状況を作り上げているとし、今後も引き続き市を含む三者にて協議を続ける。

菖蒲公園の今後

問 かつてのように見事な菖蒲が咲かない状況について今後の維持の在り方や管理の方向性は。

答 育成不良は菖蒲田周辺の環境変化も一因と考えられる

が、開花状況の改善が図られるよう引き続き周辺環境を研究しながら維持管理に努める。



現在の菖蒲公園

特別教室への

エアコン設置を

問 昨年度は市内全ての小中学校の理科室にエアコン設置を行っているが、その他の特別教室にも適切な教育環境確保のため冷房設備の設置を。

答 新築、改築の学校についてはエアコン設置予定である。他小中学校については廃校となる学校からの再利用を含め順次設置できるように努め、適切な学習環境の構築を図る。

若年女性の

市外流出対策を



中川 幾代
(立憲民主党)



問 就職する際、職場の女性の割合、育休などの福利厚生は注目ポイントであり、民間企業に一般事業主行動計画の策定を推進する方法として、入札参加資格や入札の評価に一般事業主行動計画の策定を取り入れては。

答 すでに秋田県の入札参加資格審査項目となっており、県に進ずるとされている市の等級格付けに反映されたものとなっている。

問 行政が行う婚活事業は「結婚が正しい」という価値観の刷り込みにならないか。

答 あきた結婚支援センターへの入会登録料の助成、アベイバプロジェクトによる出会いや交流の場を提供しているが、「結婚が正しい」という価値観を前提

として行っているものではない。

問 出会いの機会が少ないことが非婚や少子化の原因なのか。事業を検証する必要があるか。

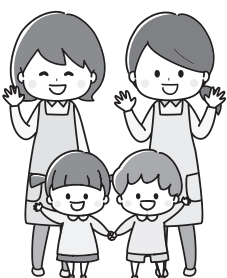
答 総合戦略で主要戦略を定め、重要業績評価指標(KPI)を設けて検証を行っている。検証にあたっては、内部評価を経て、専門的視野を持った外部有識者で構成する「施策等効果検証委員会」において、各施策のKPIの達成状況などを確認し、PDCAサイクルを用いて、取り組みの改善につなげている。

希望する保育園に

入れるように

問 保育士確保支援策を。

答 潜在保育士の掘り起こしや保育補助者の活用について、国の補助事業も念頭に、実施の可能性について検討している。





正木修一
(サキホコレ)



再生産可能な

農業経営支援

問 異常気象により、農業経営継続への危機感が大きくなっている。耐性品種への転換や対策技術導入への支援は。

答 今年の異常な猛暑は、コメや野菜、果樹など多くの農産物において、収穫量の減少や品質の低下など大きな影響をもたらした。

市としては稲作に限らず、地球温暖化に伴う異常気象に対応した新たな品種への転換や新技術の導入に対し、必要な支援策を積極的に講じていく。

洋上風力発電事業

問 風車の保守・運営拠点として、現状の本荘港は利用可能か。
本荘港利活用に向けての整備は。

答 事業者が港湾内における静穏度を調査し、水深の確保など一定の条件はあるものの、現状でも利活用は可能との見解が示された。今後、各種設備の整備などが必要となることから、本荘港の整備促進について県へ要望した。



利活用が期待される本荘港

河川・道路改修など
国事業の進捗状況と見通しは

問 計画の変更や工事の停滞など、地権者や地域に対しての説明が不十分と考える。

答 県からの情報収集は出来ないのか。市はもっと関わっていくべきでは。

茅川河川改修は令和12年度、国道341号泉田工区は令和6年度までの工事予定である。

必要に応じて住民説明会を行い進めているが、少なくとも年度ごとに、定期的な工事状況の周知が充分にされるよう国や県に要請していく。



大友孝徳
(市民の窓口)



持続可能な私たちで観光
産業を成長させるために

問 市の観光の質を高めるためには地域全体で取り組む事が大切だ。ナイスアリーナに市内全域の祭りや文化行事を集め、広く市民の方々に楽しんでいただく「新・由利本荘市の行事」を開催しては。

答 各地域で行われてきた深い意義と人手不足の中、携わっている方々の思いを考慮すると出演いただくことは難しいものと考ええる。



西目湯保八幡神社神楽

最新のデータと合理的な考えに基づく
風力発電施設の健康被害対策を

問 北海道大学の田鎖助教が作成したソフトウェアによると、現在の計画のまま洋上風力が進めば4万4537人の市民が不眠症リスクを負うとしている。本市政府が風車による健康被害を看過したとして後世に汚名を残さぬよう、国に実態調査を依頼し市民擁護策を立案すべきでは。

答 風力発電施設は関係法令を遵守したうえで設置されるものであり、市では国に調査などを依頼することは考えていない。

若者の投票率向上を
目指して

問 少子高齢化が著しく進む本市にとって、若者の選挙投票率向上は喫緊の課題だ。20歳から24歳の投票率が18歳・19歳の投票率を下回っているれば、本市でも「選挙手帳」を導入すべきでは。

答 4月の県議会議員選挙時の抽出調査の結果、20歳から24歳の投票率が18歳・19歳の投票率を11・34%下回っている。「選挙手帳」の先進自治体に導入後の実績などを確認しながら検討する。

令和5年度
由利本荘市議会

「市民と語る会」開催

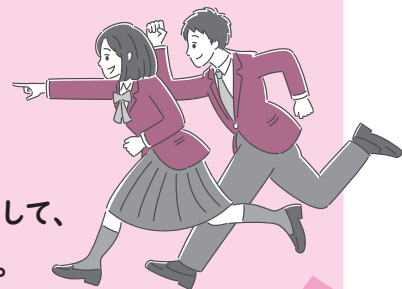
昨年度に引き続き、令和5年12月27日（水）カダーレを会場に「高校生と語る会」を開催しました。

市内4校の高校生31人と市議会議員21人が9つのグループに分かれ「**くらしやすい・住みやすいまちづくり**」や「**活気のあるまちづくり**」などをテーマに、これからのまちづくりについて話し合いました。



全体会の発表から

- ・バスや電車など、公共交通がもっと便利になってほしい。
- ・通学路など、暗いところが多い。もっと街灯を増やし、明るい安全なまちにできれば。
- ・駅前に人が集まることができる店があると良い。
- ・遊び場や保育の場を増やすなど、子育て環境の充実を図ったら良いのでは。
- ・企業が多く、若者の働くところがあるまちになってほしい。
- ・一人も取り残されない、コミュニティーがしっかりしているまちにしたい。
- ・今、私たちにできることとして、仲間づくりをしていきたい。



本荘地域の商店街や施設の充実を図るなど、コンパクトシティにつながる意見や公共交通の充実、子育てや労働環境の充実、さらには人との結びつきを注視した意見など、高校生の目線で本市の現状をとらえ、多様な視点からの意見が出ました。

参加者からは、「他校の生徒と交流ができて良かった」「さまざまな意見や考え方があって面白かった」「自分たちの住むまちについて考えることができ、貴重な体験ができた」などの感想が寄せられました。

議会では、今回の語る会の内容を報告書としてまとめるとともに、参考にするべき意見として、市への提言に向け検討していく予定です。

（実行委員会 委員長 小松 浩一）



議長交際費

	10月	11月	12月
慶祝、協賛など	52,960円 (8件)	42,850円 (8件)	35,000円 (4件)
弔 事	0円 (0件)	0円 (0件)	60,000円 (2件)



議長公務・交際費の詳細につきましては、市ホームページをご覧ください。

議会を見よう！知ろう！

▶ 次の定例会は2/16~3/19 ◀

- ★ 議会を傍聴！ライブで！
- ★ 会議録で読む
- ★ ケーブルテレビで生中継
- ★ 由利本荘市議会YouTubeチャンネルでライブ配信



由利本荘市議会YouTubeチャンネルはこちら▶



市議会カレンダー

● 3月定例会の予定 ●

日	月	火	水	木	金	土
2/4	5	6	7	8	9	10
					16	17
			14	15	16	17
					16	17
					16	17
18	19	20	21	22	23	24
					23	24
25	26	27	28	29	3/1	2
					3/1	2
3	4	5	6	7	8	9
					8	9
					8	9
					8	9
10	11	12	13	14	15	16
					15	16
					15	16
					15	16
17	18	19	20	21	22	23
					22	23
					22	23
					22	23

2月7日(水)
正午までに受理する
請願・陳情を審議
する予定です

本会議
(開会・施政方針)

議会の予定は変更になる場合があります。
詳細は議会事務局までお問い合わせください。(TEL24-6386)

各常任委員会では、政策提案・
提言を行うことを目的にテーマを定め
所管事務調査を行います。

- 総務常任委員会…「地域公共交通について」
- 教育民生常任委員会…「子育てにやさしい環境づくりについて」
- 産業建設常任委員会…「再生可能エネルギー（特に洋上風力発電事業）促進における地域活性化について」

議会日誌

(10/1~12/31)

10月 5日 会派代表者会議
16日 議会報編集特別委員会
社会福祉大会
18日 三重県熊野市議会行政視察来訪
19日 会派代表者会議
産業建設常任委員会協議会
由利本荘医師会との懇談会
27日 会派代表者会議
31日 議会報編集特別委員会

11月 11日 議会運営委員会
会派代表者会議
17日 臨時会
22日 議会運営委員会
27日 議会報編集特別委員会
30日 本会議（開会）
市民と語る会実行委員会

12月 5日 本会議（一般質問）～7日
会派代表者会議
7日 議会運営委員会
令和6年度予算に対する各会派提言
12日 市民と語る会実行委員会
14日 宮城県利府町議会行政視察来訪
18日 議会運営委員会
本会議（閉会）
議会全員協議会
22日 議会報編集特別委員会
27日 市民と語る会

12月定例会

議長公務(主なもの)

10月 5日 各期成同盟会等県内要望(市内・秋田市)
12日 各期成同盟会等仙台要望(宮城県仙台市)
13日 各期成同盟会等中央要望(東京都)
21日 由利本荘市入部四百年記念大会友好都市との夕食会
22日 六郷氏・岩城氏・打越氏 由利本荘市入部四百年記念大会
友好都市歓迎レセプション
24日 羽越本線高速化シンポジウム(山形県鶴岡市)
25日 全国市議会議長会研究フォーラムin北九州(福岡県北九州市)(~26日)
31日 市功労者顕彰式

11月 3日 鳥海小学校創立10周年記念式典
6日 東北市議会議長会理事会(宮城県仙台市)
13日 地域づくり推進フォーラム
15日 三県要望活動(東京都)(~16日)
羽越本線高速化促進大会(東京都)
日本海沿岸東北自動車道沿線市町村建設促進大会(東京都)
20日 老人クラブ大会
29日 由利本荘・にかほ北都会

12月 10日 高橋宏幸賞感想文・感想画コンクール表彰式
14日 鳥海高原矢島スキー場 スキー場開き
17日 高橋正知世氏瑞宝単光章受章記念祝賀会
25日 地域農業再生協議会総会



由利中学校 2年
おがさわら
小笠原 みゆ さん
(町内名 南福田)

アイラブ
愛 LOVE
ゆりほんじょう
vol.33

鶴舞小学校 5年
おおとも かい と
大友 快人 さん
(町内名 大嶽町)



“ほっ”とする幸せな由利地域へ

私の住んでいる由利地域は、豊かな自然に恵まれています。私は、それを生かすことが地域の活性化に繋がると思っています。

例えば、不要になった木材を使い、ツリーハウスや秘密基地のようなカフェ等を建てるのはどうでしょうか。大人から子どもまで落ち着けるスペースを作ることで地域の魅力を再発見できるし、カフェならば気楽に立ち寄れる憩いの場になると思います。木造建築の温かさやぬくもりは、みんなの心をほっとさせるだけではなく、デジタルデトックスにもなるはずです。

いつまでも自然豊かで、皆に幸せな空間を提供できる由利地域であってほしいし、私も将来、その力になれたらいいなと思います。

由利本荘市の自然

ほくは、由利本荘市の自然が好きです。由利本荘市の自然の中でも、特に法体の滝が好きです。その滝は三段になっていて、日本の滝百選に選ばれる有名な滝です。法体の滝は、ほくが小学4年の時に初めて見に行きました。初めて見た時、すごく高く、きれいだと思います。特に山も合わせた全体の景色がきれいだと思います。それ以来もう行ってないので、また見に行きたいです。

ほくは、こうした由利本荘市のゆたかな自然を守っていきたいです。なぜなら、見に来る人たちだけでなく、そこに住む動物たちのためにもなるからです。自然を守るために、責任をもって植物を育てたり、声をかけ合ったりするなど、身近な事から取り組んでいきたいです。



さて、幼かった子ども達もあつとつう間に成長し、自然豊かな地域で元気に走り回って…、と紹介したいところですが、近年は新型コロナウイルスの影響に加えクマの出没過多により、その自由さえも奪われています。一方で、市政においては様々な策を講じて、より安全な生活を送れる環境を作って頂いております。親としても、我々世代が育ってきた環境とは大きく違うことを理解し、子ども達が豊かに成長できるように励んでいかなければならないと感じています。



岩城地域
(町内名 滝俣)
まえかわ
前川 善隆 さん
よしたか

まちの声から

環境変化に負けずに

本市に戻り、農業に転職してからちょうど10年経過しました。

ここ数年は、急激な気候変動に対応できず、改めて農業の厳しさを実感しております。

編集後記

2回目の開催になった「高校生と語る会」。課題を探るだけでなく、高校生が自分たちができることにも言及してくれました。こうした話し合いが、大切だと思います。

各常任委員会は、テーマを決め、2年をかけて、政策提言をまとめるため、所管事務調査を開始します。課題を明確にするためには、広聴活動など、新たな取り組みも展開されることになるでしょう。

こうした議会の動きが伝わるよう、新メンバーにより紙面の充実を図ってまいります。

(佐藤 正人)



議会報編集特別委員会

後列 大友 孝徳 小川 幾代 佐藤 義之 泉谷 起馬
前列 佐々木隆一 ◎佐藤 正人 ○南坂 貴子 三浦 晃
(◎=委員長 ○=副委員長)